

独占!限界セクシー 離形あきこ ○衝撃のヨコチチ 曲山えり

WEEKLY 0

特別付録「特製フォトカード」キミは美沙子?紗季?真悠子?



¥350

アビテー

衝撃の渾身ヌード
小栗香織

黒ビキニてんこ盛り

ティーンエイジクラブ

[実用★袋とじ]

紋舞らん&早坂ひとみ「100円からのSEX LIFE」

10・26 No.43

超特大号

たかが38周年!

創刊月間

SPECIAL THANKS!

空前の詐欺ブームに専門家が緊急警告!!
「最新サギ、こんな人がハメられる」

ジーコジャパン次予選敗退悪夢のシナリオ!!

2005年プロ野球・人気復活のかぎはやっぱり「脱・巨人」!
早くも断言!「勝ち組」「負け組」の分類でハッキリ見えた!

史上最强のビキニ共演! [表紙&巻頭グラビア]
安田美沙子 × 相武紗季

× 岩佐真悠子

10週連続応募者全員サービス
第2弾は、特大ポスター&
クリアファイル&携帯ストラップ

見たい順がたり

事件ジャーナリスト黒木昭雄 「怒濤の追及シリーズ」 第3弾!



くろき あきお ●元警視庁巡回部長。57年生まれ。23年間の在職中に総監賞を23回受けるも、警察組織のあり方に疑問を抱き、29歳で引退。『警察ジャーナリスト』として幅広いジャンルのテーマに取り組み活躍中。近著に『葬式の値段にはウラがある』(草思社)

驚くべき撮影技術とチームワーク、そして実行犯の正体……。 犯罪AV制作集団の実行犯がすべてをバラす!



公衆浴場に忍び込み、なに食わぬ顔で女性のあられもない姿を隠し撮りする『女風呂盗撮モノ』と呼ばれる犯罪的AV。今回、カメラ片手に自由に女風呂を動き回り、堂々と撮影しまくる実行犯の女性グループとの接触に成功! 彼女たちの口から次々飛び出す、そのすさまじい手口とは?!

驚くべき盗撮実行犯の正体とは?!

今から2カ月ほど前、本誌35号で『盗撮モノ』と呼ばれるAVの制作に深く関わる人物を取り材し、その驚くべき手口の一端を報じたのだが、その後の過程で『女風呂盗撮モノ』に収められている、あの生々しい入浴シーンを撮影する女性の共犯者が複数存在することが判明した。

そこで、さらに盗撮手口の全容を明らかにすべく『実行犯グループ』3人の女性との接触に成功! 日本の犯罪史上初とも言える『女性盗撮実行犯座談会』が実現した!

業界の捷を破り、今回の取材に応じてくれたのは、まず、自称『関西地方の

（28歳）。彼女は携帯サイトのアルバイト情報を見てこの世界に入り、現在2年目だという。人の行動には様々な動機があるが、彼女がこの世界に入った動機がこれまた屈折しているのだ!

「あたしブスだから、かわいい年齢は少しほかしてある。彼女がこの世界に足を踏み入れたのは今からおよそ3年前。交際していた男の借金を背負い込み、闇金融の取立てに迫られる毎日だった……。

『ラクに稼げる仕事があるって金融屋に誘われ、それが盗撮だったのね。初めはドギマギしたけど慣れればたいしたことなかった。誰も盗撮され

てるなんて思っていないから、みんな無防備。闇金から追われる時の苦しみを思えば、なんの抵抗もないわ』

つまり、A子は他人の借金の返済のために盗撮を繰り返しているというのである。

『どうせ被害者も自分の裸が売れてることなんて知らな

いんだし、そんなビデオを買う男がいるから悪いのよ』

と、自分の犯罪行為をタナ

ね……B子、あんただよね?』

極悪手口

続いて、フリーランサーのB子

サツに捕まつたのは!』

さかさず言い返すC子にひ

るままで、B子は得意げにその

時の様子を『武勇伝』のよう

に披露する。

「そうなのよ、確かに○○市の

スーパー銭湯だったわ……』

とある日の午後、B子は閑

スバー銭湯だったわ……』

とある日の午後、B子は閑

取材・文/黒木昭雄 188

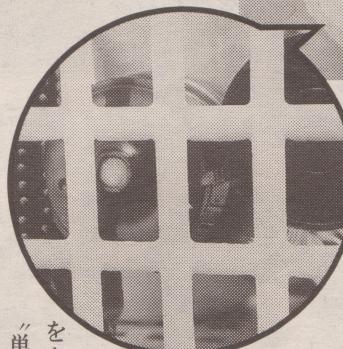
*これらのバッケージおよび画像は
あくまでイメージであり、記事の本
文とは直接関係ありません

女風呂盗撮 財政危機





盗撮実行犯が風呂場で持ち歩く「撮影機材」のイメージ。一見すると、ふつうのプラスチックのカゴにシャンプーなどの大きめのタンクとチューブ式のトリートメントが入っているようにしか見えないが、タンクの底にカッターナイフで切り込みを入れて、その中にビニールでくるんだ家庭用小型VTRを隠している。さらに、コードでないだけの小型レンズを、フタが開いた状態のチューブの口のところに仕掛け、タオルやクシなどでカモフラージュするという



散とした浴場で、ひとりの若い女性をしつこく追い回し、その举动不審ぶりからバレてしまつたという。B子と被害者の女性が殴り合い、まさに流血の修羅場だったとか。

「ホンマかなわんわあ。素っ裸で捕まるなんて、そりや恥ずかしいで！」

しかも驚くことに、通報を受け駆けつけた警察官は、なぜかB子の盗撮行為には目をつぶり、被害者にケガを負わせた『傷害罪』のみでB子を送検したという。

「私の言い訳がうまかったのよ。『ノゾキ趣味の彼氏に盗撮行為がバレない』ようにお互

理やり盗撮させられた』って言つたの。もちろんウソだけど、そしたら『當利に絡んでないんだな』といふことで警察の調べは意外に甘かつた

しかも、このB子の事件をきつかけに、『単独で動くのは危険が多い』という教訓を学び、それが、このA子率いる「盗撮グループ」の結成につながったという。

「ほんまかなわんわあ。素っ裸で捕まるなんて、そりや恥ずかしいで！」

しかも驚くことに、通報を受け駆けつけた警察官は、なぜかB子の盗撮行為には目をつぶり、被害者にケガを負わせた『傷害罪』のみでB子を送検したという。

では、実際に彼女たちはどんなスゴイ機材を使って撮影を行なうのだろうか？

A子「全然。家庭用のふつうの小型ビデオカメラなのよ」

B子「それを、どのようにして風呂場に持ち込むのだろうか。全裸では隠す術もないし、もちろん、見つかれば大ゴトだ。B子「カメラを堂々と持ち歩つながっている。現場では一応『仲間』として仕事をするが、常にこのメンバーで動くというわけでもない。なんとなく現場に一緒に居合わせ、ひとりが脱衣所を、ひとりが

見破られないわ」（上の写真参照）

A子「そんなこと言つてバレたのは誰だ？」

B子・C子「（大爆笑）」

その他に失敗談は？

B子・C子「慣れないからは、上下逆にレンズをつけてることに気づかなくて、再生してみたら、もちろん画面も上下逆さまで売り物にならなくて……なんてことも」

C子「そういうミスつてあるよね。私なんか（綿棒で）レンズをふくの忘れて全部ボヤけてたこともあった」

B子「レンズが曇るなんて常識でしょ。だから、いつまでたってもまともな仕事できないよ。アンタは！」

C子「ゴメンなさい。私は優だから！」

A子「優だから！」

とまあ、良心の呵責など力ケラもなさそうにあつけらかんと話す「盗撮のベテラン」の彼女たち。では、うまく盗撮するコツはあるのだろうか？

A子「コツというよりも、まずは場所と時間帯を選ぶこと、それがなりにカモフラージュしてよ。シャンプーやリンスを入れたカゴの中に隠して

*この記事に関して、本文の内容以上に及ぶご質問およびお問い合わせには編集部ではお答えできませんので、なにとぞ了承ください

い目配せをしながら、あうんの呼吸で作業を進めていくそ

うである。つまり、いわば彼女たちは「独立自営業者」の集まりのようなもので、時に

「獲物争い」になることもあるというが、そこは共通の目的を持つ者同士、最低限のマナーで譲り合いも忘れないと

いうことだ。次々明らかになる驚きの手口!!

にはありつけない。だから近場の施設を回っては穴場を見つけるわけよ。最近では女子大の近くにある『○○湯』が

お勧め。周りに学生相手の小さなアパートがたくさんあるから若い子が集まる。コツを

190

練習する。映したい部分がちょうどよく画面に入るよう

にするのが難しい

彼女たちの上をいく “ドン”が存在!!

では、どういうタイプの女性を狙うのだろうか?

B子「私の場合は胸が大きくてスタイルのいい子を選ぶ。若ければ言うことなし。デープを買いつける人のリクエストもあるけど、そういう思いどおりの娘にはなかなか出くわさないから、見つけた時は、そりゃしつこくやるわよ。『この娘の裸の映像が店頭に並ぶんだ!』って思うと興奮するしね。だから、洗い場で横に座つたら相手が立ち上がるまで粘るし、容赦なく顔も撮る。絶対離れない」

C子「容赦のなきでは、D子さんというオバサンがすごいのよ。彼女は迫力と雰囲気で

相手を圧倒するタイプだからニラまれたら誰もなにも言えない。そもそも、風呂場にいても怖がつて誰も目を合わさうとしないから、絶対に仕掛けは見つからないと思う」

A子「正確に言うと彼女は私たちのメンバーハヤないの。一匹狼みたいな人。でも、たまたま現場で会うと、『仕事』が終わつた後に誘われて一緒にお酒を飲むことはあるわ。

年は50少し前で、和歌山カレー事件の林真須美被告みたいにデップリとした雰囲気の人。ドスの利いた低い声が特徴で、ものすごく迫力ある」

C子「私は、あの人人が現場と一緒にいるだけで安心。バレそうになつた時、一番頼りになりそうだから」

もちろん、彼女たちの行為は立派な犯罪であり、バレ

ばB子のように警察の『厄介』になる。そんな身の危険を冒してまで彼女たちが得る報酬は、いつたいどのくらいのものなのだろうか?

A子「テープのデキ具合によつても違つけど2時間撮りのテープが1本2万~3万円くらいで、デキがよければもつと高く買いとられる。10本くらいたまつたら宅配便で送るんだけど、1回に振り込まれるお金は平均50万円ぐらいかな。仕事の合間のバイトとしては、いい額かも」

いやはや、警察に捕まる危険と引き換えに受け取る額として高いのやら安いのやら…。では、盗撮被害を未然に防ぐためのよい方法はないものだろうか。まさに実行犯である彼女たちに聞いてみた。

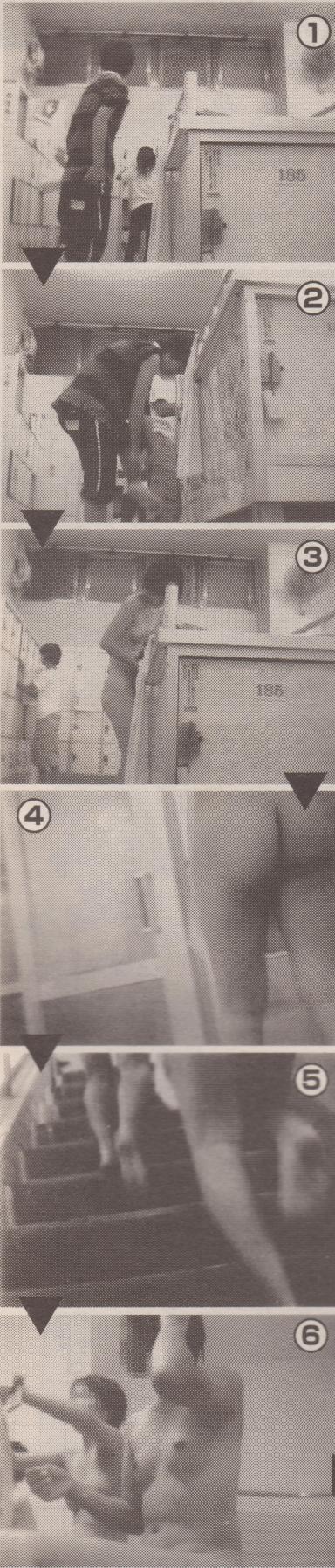
A子「シャンプーのボトルや

トリートメントのチューブの持ち込みを禁止されたら、お手上げだよね。ありえない話だけど(笑)」

B子「『盗撮禁止』なんて張り紙出されたら(心理的に)相当やりにくいくらいで、デキがよければもうもんだから、そんな張り紙するワケないし(笑)」

C子「たとえ私たちが盗撮から足を洗つたところで、こういうのを買う人と売る人がいなくならない限り盗撮行為もなくなることはないしね」

今日もまた、彼女たちのような犯罪者によって、日本のどこかで、なんの罪もない女性たちが盗撮の被害に遭い、映像が売られている。この現実は断じて許されざるべきことである!



盗撮実行犯の女性たちが撮影したテープを“納入”する、とあるAVメーカーから取材班が独自に入手したテープの一部。脱衣所で“視聴者”的好みに合うような“獲物”を見つけると(①)、対象がフレームの中央にくるように微妙に角度や距離を調整し(②)、服を脱いだところから体を洗うところまでしつこく対象を追い回し(③)。もちろん、彼女たちの行為は立派な犯罪であり、バレは立派な犯罪であり、バレ

~⑥)、風呂から出てきたところで顔のアップもしっかり押さえ(⑦)、体をふいて服を着終わる(⑧)まで、その一部始終を撮影しているのか。ファインダーを見ずに、さらにズーム機能もなく、対象との距離やレンズの角度をカシで調整して撮影しているとすれば、その技術には驚かされる

